

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 人権推進課 シート No.： 9 作成日： 2025.5/1

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	I 市民参画の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 参画と共同の仕組みをつくり、活動の輪を広げる	人権とは誰もが生まれながらに持っている、誰からも侵されることのない基本的な権利であり、人種や民族、宗教観や思想・信条の違いを問わずお互いを尊重する意識を高めていかなければなりません。 現在、様々な人権問題があり、これらの問題を正しく理解し、あらゆる差別をしない・させない、偏見をもたない人材育成が必要です。中でも特に同和問題は今なお解決していない日本固有の人権問題です。今後も、研修会や講演会により継続した啓発活動が求められています。	・職員をはじめ、市民や市民団体等に対し、人権意識や人権教育の普及啓発の推進を行っていくことで「誰一人とり残さない社会」を目指します。
	施策	4 人権		・人権問題の一つである同和問題の解消のため、研修会や講演会を実施したり、教育機会の充実を図ります。また、市民団体主催の研修会に職員が参加し知見を深めることによって、同和問題の解決を推進していきます。
	施策内容	人権啓発・教育の推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市人権施策推進基本条例		
事務事業名		人権同和対策事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
職員向け人権・同和問題研修会 （R 6・7・8）	行政に携わる市職員として、人権・同和問題を正しく理解し、職員各々の人権に対する知識を深め、高い人権意識を持って職務を遂行していくことを責務・目的として開催しました。	受講者数（人）	43	30	20 千円	20 千円
			43	30		
人権啓発講演会 （R 6・7・8）	人権問題に対する正しい理解を広め、人権意識を高揚することを目的として、人権啓発講演会を開催しました。	参加人数（人）	500	450	230 千円	83 千円
			548	450		
新規採用職員研修 （R 6・7・8）	多種多様な人権問題の中、新行政職員として権利と義務をよく理解し、公正・公平・適正に業務を遂行するため、人事課で毎年実施している研修会です。	受講者数（人）	24	25	0 千円	0 千円
			24	25		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
人権啓発講演会における参加者数	500 人	548 人

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
多様性の時代の中で、子どもたちとどう向き合っていけばよいのか、講師自身の経験を織り交ぜながら、分かりやすく講演していただきました。 参加者については市民、教育、行政関係者など目標の 500 人を超え、548 人の参加者がありました。 また、講演後のアンケート内容においては「とてもわかりやすかった」、「悩んでいる方の心の痛みが理解できた」などの回答があり、人権啓発講演会に参加していただくことで人権問題に対する正しい理解を得ることができるものと考えます。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	今後も、同和問題をはじめ、女性・こども・高齢者・障がい者等、幅の広い人権問題に対して講演会など啓発活動を行っていくことにより、「誰一人取り残されない社会」を目指し、市民が望む形での活動を続けていきたいと考えます。			